

世田谷区立玉堤小学校
校長 伊藤 修久 様

翠と溪の学び舎・世田谷区立玉堤小学校
学 校 関 係 者 評 価 委 員 会

令和6年度 世田谷区立玉堤小学校

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

1. 調査の実施経過

- (1) 第1回学校関係者評価委員会 《令和6年10月21日》
 - ① 今年度学校関係者評価委員および事務局教員の紹介
 - ② 委員長の選出
 - ③ 学校経営方針や重点目標等の説明
 - ④ 評価アンケート区共通項目の確認と本校独自項目の確認
 - ⑤ 学校関係者評価関係の年間スケジュール調整
 - ⑥ 年間学校行事予定の確認
- (2) ウェブアンケート調査の実施と回収
 - ① 実施から回収期間：令和6年11月13日～11月27日
 - ② 「世田谷区共通項目＋学校独自項目」アンケートの対象者
 - 5・6年児童188名、保護者447名、地域協力者12名を回収
 - 回収率 保護者 79.7%（昨年度 54.7%） 地域 26.7%（昨年度 45.8%）
- (3) 集計データ（児童、保護者、地域）
 - アンケートの実施：11月13日～27日
 - 集計結果通知：12月25日
- (4) 第2回学校関係者評価委員会 《令和7年1月21日》
 - 児童（5・6年）、保護者（1～6年）、地域協力者の集計結果分析と課題の検討
- (5) 第3回学校関係者評価委員会 《令和7年2月10日》
 - 児童・保護者および地域協力者の総合的な分析と課題の検討
 - 学校関係者評価報告書内容の検討
- (6) 学校運営委員会にて「学校関係者評価最終報告書」公表《令和7年3月8日》

2. 学校評価の今年度の視点

学校評価の分析を進めるにあたり、調査結果から見えた本校の成果と課題について、関連する項目を観点別に整理して、総合的に評価した。それは、調査によって浮き彫りにされた問題が個々の設問だけでは評価できず、複数の要因が関連しているからである。

アンケート結果の分析・評価については、A（とても思う）、B（思う）、C（あまり思わない）、D（思わない）の4段階とE（わからない）項目を加えて行った。さらに分析に当たっては、A（とても思う）とB（思う）の合計の割合を基準にした。参考までに、（ ）内に昨年度の割合を添えた。

3. アンケート集計結果の分析と提言

1 令和6年度・学校の重点目標について

重点目標1：豊かな伝え合いを通して、深く考える子どもの育成（知）

〔数値目標〕

- 自分の思ったことや考えたことを文章や言葉で表現し、タブレット端末等を活用し、伝え合う場を多様に設定することにより「自分の思いや考えをすすんで表現する」子どもを90%以上にする。

【児童・保護者・地域アンケートより】

- ◆ 「映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている」
5・6年生 92%（95%） 保護者 76%（82%）
- ◆ 「話し合ったり発表し合ったりする機会がある」
5・6年生 99%（95%） 保護者 86%（87%）
- ◆ 「思ったことや考えたことを友だちに伝えられる」
5・6年生 89%（85%） 保護者 65%（75%）
- ◆ 「課題について、自分で考えたり友達と考えたりする時間を授業の中で取っている」
5・6年生 95%（96%） 保護者 80%（87%）

【提言】 「課題に向かって自分で考えたり友だちと考えたりする授業」「話し合いや発表を工夫した授業」「映像やタブレットを活用した分かりやすい授業」等の継続により、子どもたちは、自分の思ったことや考えたことを伝え合うことができるようになってきている。このことから、重点目標1は、達成できていると言える。「深く考える子どもの育ち」を支えているのは、豊かな伝え合いを作り出す工夫された授業であり、今後も子どもたちが自分の考えを伝えられる授業づくりを期待する。

重点目標2：自己有用感を高め、思いやりのある子どもの育成（徳）

〔数値目標〕

- 「思いやりの気持ちをもって行動している」子どもを90%以上にする。
- 「自分からあいさつの声をかけることができる」子どもを90%以上にする。
- 様々な人と関わることを通して、人の気持ちを考えたり、人のために何かをしたりする経験を積み重ねることにより、「相手の気持ちを考えて行動している」子どもを90%以上にする。

【児童・保護者・地域アンケートより】

- ◆ 「思いやりの気持ちをもって行動している」
保護者 79%（85%）
- ◆ 「人とかかわりを通して、よりよい人間関係を築こうとしている」
保護者 76%（75%）
- ◆ 「心を込めて、ありがとうと言っている」
5・6年生 95%（94%） 保護者 76%（84%）
- ◆ 「相手の気持ちを考えて行動している」
5・6年生 92%（92%）
- ◆ 「学校生活の中で、進んで上級生としての役割を果たしている」
5・6年生 76%（80%）

- ◆「本校の子どもたちは、すすんであいさつをしている」「きちんとあいさつができる」

保護者 72% (80%) 地域 80% (86%)

- ◆「自分からあいさつの声をかけることができる」

5・6年生 94% (93%)

【提言】 「自分からあいさつの声をかけることができる」「心を込めて、ありがとうと言っている」「相手の気持ちを考えて行動している」子どもたちの項目が90%以上といずれも高い数値を示した。

「思いやりの気持ちをもって行動している」では、保護者が79%の値を示し子どもたちを認めているが、90%には達していない。これらの結果から、重点目標は、ほぼ達成していると言える。

これからも、学校・家庭・地域の三者が同じ方向を向き、子どもたちを認め励まし、自分の言動に自信がもてるような関わり方をしていくことを望む。

重点目標3：健康な体づくりや体力の向上にすすんで取り組む子どもの育成（体）

〔数値目標〕

○「健康な生活をする心を心がけている」（食事や睡眠・早寝早起き）「めあてをもって体育や運動に取り組んでいる」（すすんで運動・体育や外遊び）と回答する子どもを85%以上にする。

【児童・保護者アンケートより】

- ◆「子どもたちは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる」

保護者 79% (80%)

- ◆「すすんで運動するよう心がけている」「運動や遊びで体を動かしている（保護者）」

5・6年生 72% (75%)

保護者 84% (85%)

- ◆「食事や睡眠に気を付けている（5・6年）」

5・6年生 66% (67%)

- ◆「感染症予防の意識をもって生活している」

5・6年生 74% (73%)

【提言】 保護者は「子どもたちは、体力向上や健康な生活に取り組んでいる」79%、「運動や遊びで体を動かしている」84%とほぼ80%以上の数値で認めている。それに対して、子どもたちは「すすんで運動する」や「食事・睡眠」「感染予防」などへの意識がやや低く66%～74%の数値であった。

このことから、目標値を下回り、重点目標達成には至っていなかった。以上のことから、子どもたちが、さらに目的意識がもてるような保健や体育の授業を基にした健康づくりや体力づくりを学校・家庭・地域が連携して進めてほしい。

2 四つの観点について

(1) 学習指導について

【児童・保護者アンケートより】

- ◆「学ぶことが楽しい」

5・6年生 82%

- ◆「課題について、自分で考えたり友達と考えたりする時間を授業の中で取っている」
5・6年生 95%（96%） 保護者 80%（87%）
- ◆「映像やタブレットを工夫し、分かりやすい授業をしている」
5・6年生 92%（95%） 保護者 76%（82%）
- ◆「話し合ったり発表し合ったりする機会がある」
5・6年生 99%（95%） 保護者 86%（87%）
- ◆「先生は、黒板の書き方やプリントなどを工夫している」
5・6年生 85%（85%） 保護者 66%（77%）
- ◆「先生は、ていねいに指導してくれる」
5・6年生 92%（93%） 保護者 83%（88%）
- ◆「生活科・総合的な学習の時間の授業を通して、ESD・SDGsを推進している」
5・6年生 85%（80%） 保護者 65%（73%）
- ◆「家で宿題やe-ラーニングでの学習をしている」
5・6年生 62%（74%）
- ◆「家で自主的に学習している」
保護者 57%（62%）
- ◆「塾で学習している」
5・6年生 72%（65%）

【提言】「学ぶことが楽しい」子どもたちと「ていねいに指導してくれる」先生方が、車の両輪になったように走っているようである。子どもたちの興味・関心に応じた学習や映像やタブレット端末を活用した教材づくりなど、教員の個々に応じたていねいな指導・支援が子どもたちの学習意欲を高め、学習理解に繋がっていると思われる。

（2） 学校生活について

【児童・保護者・地域アンケートより】

- ◆「先生は、子どもの意欲を大切にしている。」
5・6年生 86%（88%） 保護者 86%（88%）
- ◆「本校は、ルールについて子どもに考えさせる指導をしている」
保護者 68%（77%）
- ◆「注意されたことは理解できる」
5・6年生 93%（91%） 保護者 77%（85%）
- ◆「子どもは、きまりを守って行動している」
5・6年生 89%（80%） 地域 100%（91%）
- ◆「学校生活が楽しい」
5・6年生 85%（85%） 保護者 92%（94%）
- ◆「子どもたちは、行事が楽しい」「学校行事が充実している（地域）」
5・6年生 94%（92%） 保護者 97%（95%） 地域 93%
- ◆「行事は、達成感がある」
5・6年生 86%（87%） 保護者 96%（95%）

- ◆「学校行事や PTA 行事にすすんで協力する」
保護者 75% (79%)
- ◆「学校生活の中で、進んで上級生としての役割を果たしている」
5・6年生 76% (79%)
- ◆「子どもたちは、人との関わりを通して、よりよい人間関係を築こうとしている」
保護者 76% (75%)
- ◆「学校は、地域と協力して安心・安全な学校づくりを進めている」「避難訓練・災害時対応等」
保護者 93% (87%) 地域 93% (95%)
- ◆「本校は、地域・保護者・学校協力者等とのつながりを大切にして共に地域の子を育てている」
保護者 75% (73%) 地域 100% (95%)
- ◆「先生に相談できる」「子どものことを相談しやすい(保護者)」
5・6年生 75% (79%) 保護者 76% (78%)
- ◆「遊んだり話したりする友達がいる」
5・6年生 97% (94%)

【提言】 学校は、子どもたちの意欲を大切にした学校生活が過ごせるように配慮を努めている。各行事における子どもたちの大きな成長は見逃せない。新1年生のお世話に始まり、運動会・玉堤フェスタ・学芸会などは子どもたちの人間関係や責任感、行動力を成長させる良い機会となり、実施できたことにより、みんなで取り組むことの楽しさやありがたさ、大切さがより分かったようである。先生から注意されたことに理解を示す子どもの心情から、教師と子どもとの心の繋がりを感じた。今後も、子どもたちをよく理解し、認め、褒め、伸ばす取り組みの継続を期待している。

(3) 教育活動全般について

【児童・保護者・地域アンケートより】

- ◆「本校の教育活動に満足している」
保護者 79% (86%)
- ◆「本校の重点目標を伝えている」
保護者 75% (80%) 地域 87% (91%)
- ◆「今年度の学校重点目標を理解している」
保護者 51% (54%)
- ◆「校長をはじめ教職員は協力して、教育活動に取り組んでいる」
保護者 83% (90%)
- ◆「地域の人や施設を教育活動に活かしている」
保護者 70% (76%) 地域 100% (100%)
- ◆「学び舎の中学校へ行ったり、中学生が来たりする機会がある」
5・6年生 41% (46%) 保護者 50% (36%)
- ◆「教員は、子どもに目標をもたせ、その実現のために支援している」
保護者 62% (65%)
- ◆「目標をもち、その実現に向けて努力している」
5・6年生 82% (88%)

- ◆「子どもの生き方や将来のことについて考える授業がある」
5・6年生 77%（67%） 保護者 49%（58%）

【提言】 学校教職員の協力体制も理解され、教育活動全般に関して、保護者は、ほぼ満足していることが伺える。キャリア教育についても「目標をもち、その実現に向けて努力している」「自分の生き方や将来のことについて考える授業がある」の項目が、高い数値を示し、子どもへ良い影響を与えていることが分かる。

（４） 情報提供について

【保護者・地域アンケートより】

- ◆「学校は、学校だより・学年だよりなどで情報を提供している」
保護者 89%（91%） 地域 100%（100%）
- ◆「ホームページやメールなどでも情報を提供している」
保護者 88%（91%） 地域 87%（91%）
- ◆「学校公開に進んで参加している」
保護者 91%
- ◆「学校公開や保護者会、公開講座などで子どもの様子が分かる」
保護者 95%（95%） 地域 93%（86%）
- ◆「学び舎（中学校等）の情報が提供されている」
5・6年生 73%（46%） 保護者 45%（36%） 地域 60%（77%）
- ◆「学校重点目標を伝えている・理解している」「重点目標が明確である（地域）」
保護者 75%・51%（80%・54%） 地域 87%（91%）

【提言】 学校情報が、メール配信を基準するのが定着して、特に問題はない。また、ホームページの更新も適宜行われているので、これからも続けてほしい。学校は、インターネットによる情報提供の他、定期的に学校公開や保護者会、公開講座などを開いてきた中で、保護者の参加率の高さは、学校への関心の高さと捉える。「学び舎について」は、子どもたちが、ある程度の情報は得ているので安心していている。引き続き、学校重点目標に関する情報や学び舎に関する情報、およびキャリア教育に関する情報を分かりやすく保護者へ伝える努力をお願いしたい。

4. おわりに

令和6年度世田谷区立玉堤小学校 学校経営方針「子ども達の笑顔があふれる学校」～持続可能な社会の創り手を育てる～ これには、玉堤小学校の子どもたちにESD（持続可能な社会の創り手を育む教育）を実現し、SDGsに向かって行動できる子どもに育てたいという思いがある。

そのための学校づくりとして、（1）児童にとって、自己の成長が実感できる学校（2）保護者・地域の方にとって、安全・安心で信頼できる学校（3）教職員にとって、やりがいをもって協働できる学校の3点を挙げている。今年度の学校関係者評価は、この3点を評価したことにもなり、3点ともに高い評価を得たことになる。

今年度は、学校生活も順調に進み、学校行事が子どもたちに適当なメリハリとなったのが幸いして、1年間の学校生活を楽しく過ごすことができたようである。これは、子どものために、学校・保護者・地域が常に同じ方向を向き、連携をとって行動してきた成果でもある。

“継続は力なり”長期間のコロナ禍での体験から得た「あせらず、あわてず、あきらめず、むりをしないで一歩ずつ」の行動姿勢は、教職員だけでなく子どもたちにも引き継がれているのを感じる。

アンケート調査がウェブベース主体になり回収率が激減したが、今年度さらに20%以上の回復を示した。学校とPTAの呼びかけに感謝申し上げる。

おわりに、伊藤修久校長の目指す学校づくりに、教職員が一体となり邁進する玉堤小学校に対して敬意を表する。

以上

翠と溪の学び舎・世田谷区立玉堤小学校
令和6年度学校関係者評価委員会

委員長	古澤 昇
委員	奥村 愉華
委員	上原 高広
委員	池田有華里
委員	高橋 和子
委員	永井久美子